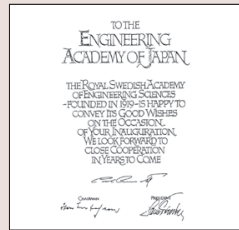


設立と法人化

1987年 4月16日 設立
1998年 1月 5日 社団法人化
2013年 7月 1日 公益社団法人に移行

歴代会長

1987年度 — 1988年度 小林 宏治
1989年度 — 1993年度 向坊 隆
1994年度 — 1997年度 岡村 總吾
1998年度 — 2001年度 永野 健
2002年度 — 2005年度 西澤 潤一
2006年度 — 2009年度 中原 恒雄
2010年度 — 2015年度 小宮山 宏
2016年度 — 2019年度 阿部 博之
2020年度 — 2023年度 小林 喜光
2024年度 — 安西 祐一郎



スウェーデン王立理工学アカデミーからの記念品授与
(1987年11月3日 スウェーデン大使館)

	会長 安西 祐一郎
副会長(会長代理)	五十嵐 仁一
副会長	大島 まり、鈴木 教洋
専務理事	林 秀樹
常務理事	折戸 文夫
理事	浅間 一、安達 千波矢、天野 浩 伊藤 みほ、岩井 善郎、金谷 一郎 佐々木 直哉、塩満 典子、杉山 正和 園田 佳巨、田口 康、立川 康人 田中 敏宏、田中 真美、谷 明人 幅崎 浩樹、浜崎 祐司、林 裕子 久枝 良雄、松田 瑞史、道奥 康治 湯上 浩雄、渡邊 政嘉
監事	亀井 信一、安永 裕幸、福田 博明
最高顧問	吉川 弘之、小宮山 宏、阿部 博之
名誉会長	小林 喜光
顧問	青山 博之、池田 駿介、梶山 千里 神山 新一、嘉門 雅史、川合 眞紀 岸本 喜久雄、久間 和生、國武 豊喜 小泉 英明、城石 芳博、谷口 功 種市 健、中西 友子、中村 道治 永野 博、菱田 公一、松尾 友矩 松本 洋一郎、御園生 誠、宮城 光信
顧問・栄誉フェロー	原山 優子

提言概要

「5G/6G時代のAI活用戦略」/
「生成AIをはじめとしたAIによる社会変容とリスクマネジメントに関する調査研究」成果報告書

日本工学アカデミー (EAJ) は、産学官の第一線で活躍する専門家の知見を結集し、社会課題の解決に向けた政策提言活動を行っています。本提言では、生成AIをはじめとするAI技術が急速に進展する中、国内外の研究機関、企業、行政等への調査・ヒアリングを通じて、5G/6G時代におけるAIの活用戦略と社会実装のあり方を検討し、4つの重点課題を提言しました。

- ① AIの透明性・信頼性の向上
- ② 汎用AI技術の発展
- ③ 人とAIが自然に協働できるインタフェースの実現
- ④ 法制度・教育・産業振興を含む社会基盤の整備

<https://www.eaj.or.jp/?name=proj-ai-5g6g>



公益社団法人 日本工学アカデミー事務局

〒101-0064
東京都千代田区神田猿樂町二丁目7番3号 HKパークビルⅢ 2F
Tel : 03-6811-0586
Fax : 03-6811-0587
E-mail : desk@eaj.or.jp

アクセス JR総武線各停「水道橋駅」より徒歩5分
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」より徒歩7分

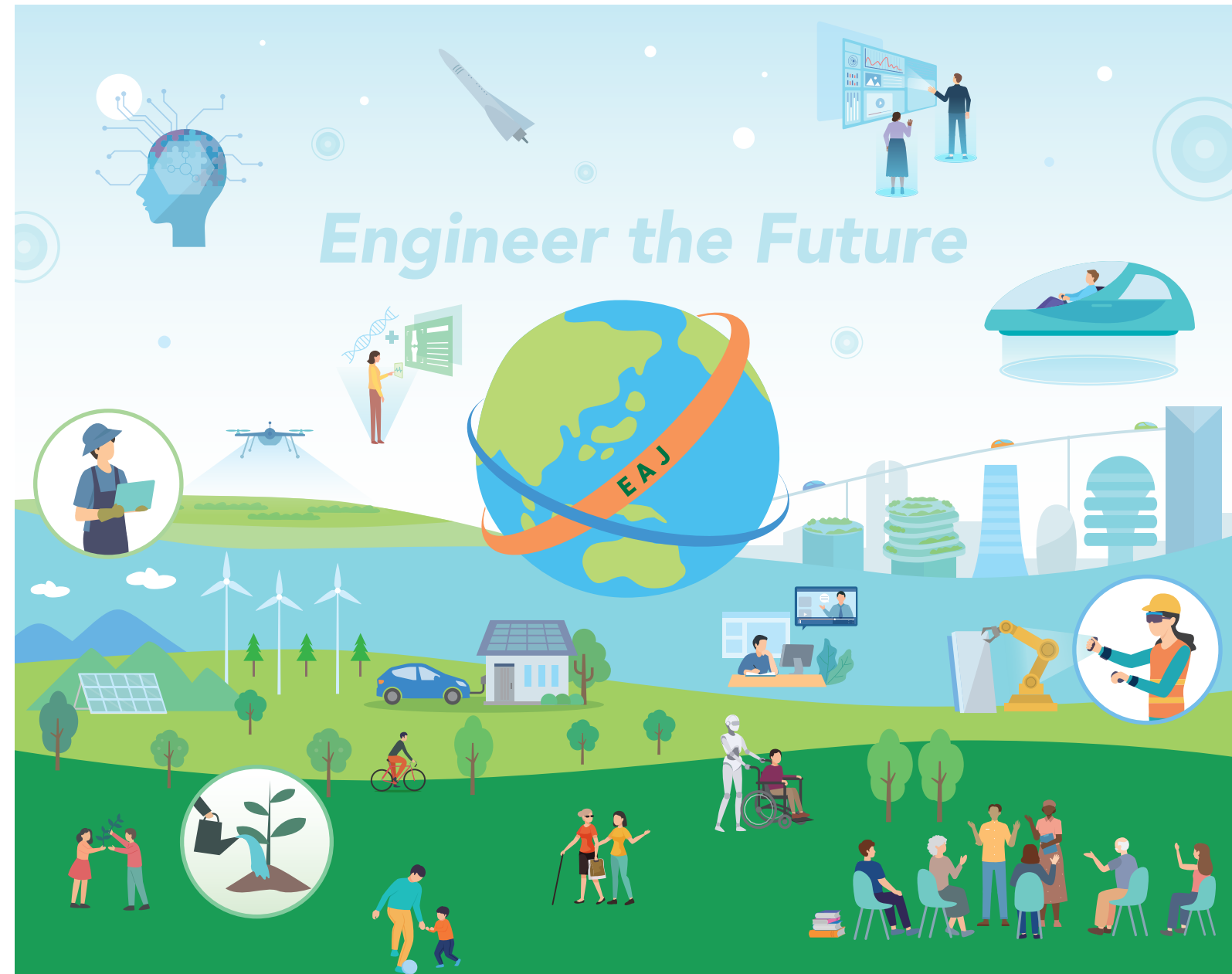
<https://www.eaj.or.jp/>



公益社団法人

日本工学アカデミー

THE ENGINEERING ACADEMY OF JAPAN



日本工学アカデミー*1のご紹介

産学官の多様な指導的有識者の発意により「産官学を問わず、工学研究・技術開発・産業振興他に貢献すること」を目的として、1987年に設立された公益社団法人です。会員の会費で運営資金をまかなう独立・中立運営の団体で、1990年には、現在33カ国で構成される国際工学アカデミー連合(CAETS*2)に、10番目のアカデミーとして、日本を代表して加盟しました。

「人類の安寧とより良き生存のために、未来社会を工学する」という理念に基づき、個人の立場で参加する各種委員会や支部活動を通じて、学界や産業界だけでなく、政府や議会、そして一般社会も含めた国内外への提言活動や意見交換を積極的に行っています。日本工学アカデミーでは、目先の視点に捕われることなく、会員の高い見識と俯瞰的な視座で未来を予見し、真に持続的な、そしてより良い社会の構築に向けてリードしていきます。

*1 : アカデミーとは、学問や芸術に関する指導的な人材により構成される組織です。
アカデミー会員は一定の推薦制度にもとづき推挙され、その専門性と広範な識見を通して、広く社会のために活動することが求められます。
この考え方は米国、英国、ドイツ、フランス、スウェーデン、中国など各国のアカデミーで広く共有されています。

*2 : International Council of Academies of Engineering and Technological Sciences

人類の安寧とより良き生存に向けて、 「未来社会を工学する」 Engineer the Future



広く学界、産業界及び国の機関等において、
工学及び科学技術並びにこれらと密接に関連する分野に関し顕著な貢献をなし、
広範な識見を有する指導的人材によって構成される本会は、
工学及び科学技術全般の進歩及びこれらと社会との関係の維持向上を図り、
我が国ひいては世界の発展に資する
(『日本工学アカデミーの使命』より抜粋)

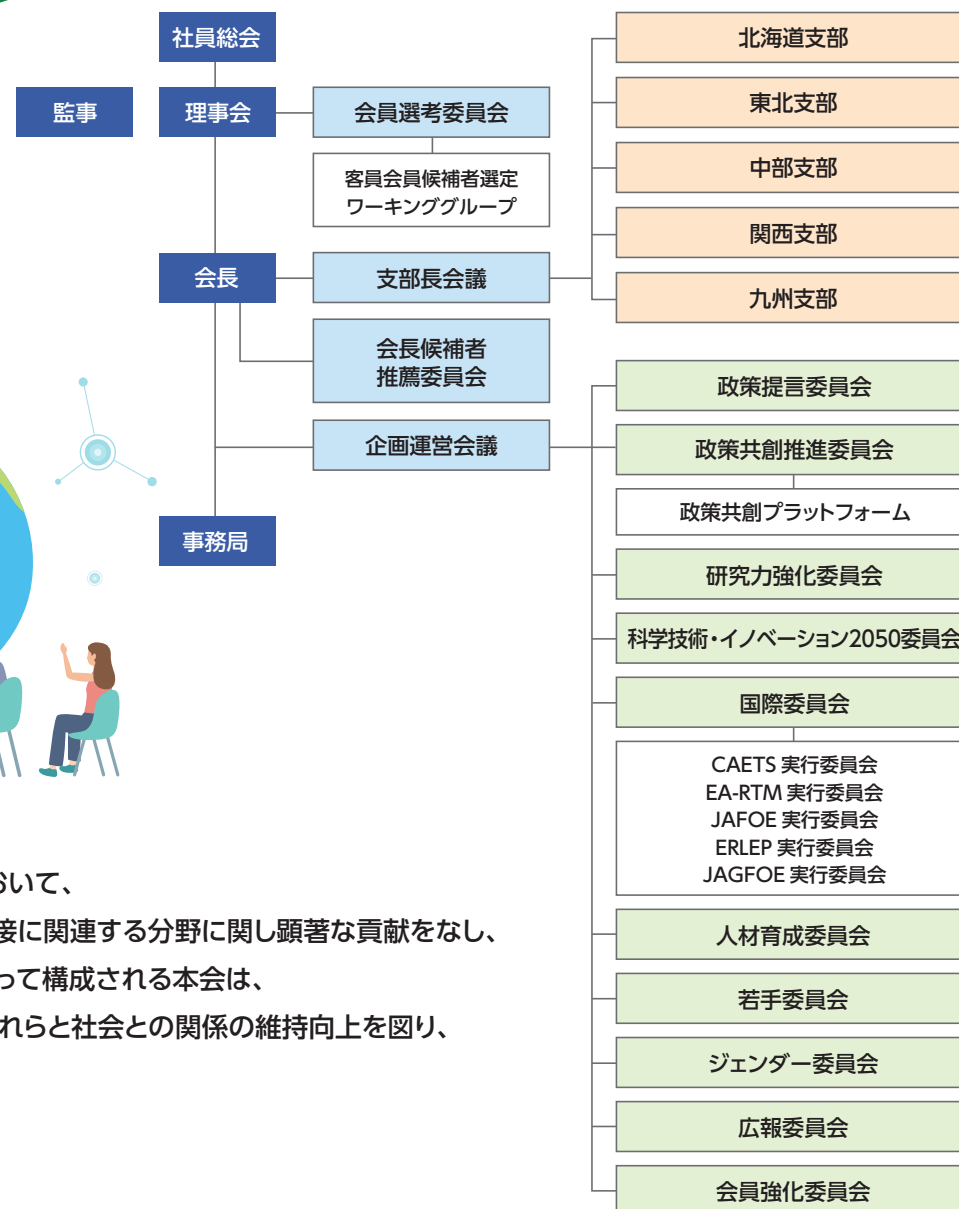
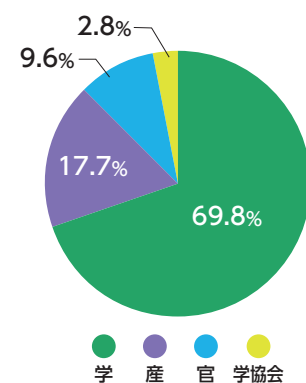
会員数

正会員 **778** 名

賛助会員 **37** 社・団体

客員会員 **71** 名 海外:17 国内:54

専門分野別(内訳)	会員数	%
機械系	152 名	20 %
情報・電気電子系	180 名	23 %
化学・材料系	143 名	18 %
建設系	103 名	13 %
資源・エネルギー系	41 名	5 %
物理系	31 名	4 %
生命系	45 名	6 %
経営・政策系	60 名	8 %
横断領域	23 名	3 %



活動例

●政策提言プロジェクト関係報告書 (政策提言委員会)

- ・来たるべき未来の工学倫理と工学教育に関する調査研究
「人類の安寧とより良き生存を目指した工学倫理と工学教育」プロジェクト
(一般財団法人新技術振興渡辺記念会 令和6年度(2024年度)上期科学技術調査研究助成)
- ・国立国会図書館 受託報告書
「マテリアル科学 ―最先端と未来への選択肢―」
- ・「5G / 6G時代のAI利活用戦略」プロジェクトならびに
「生成AIをはじめとしたAIによる社会変容とリスクマネジメントに関する調査研究」プロジェクト成果報告書

●若手委員会

- 第2回若手リーダー塾
「未来を拓く国際人材へ成長する新たな視座」



ジェンダー委員会
第4回 ジェンダー委員会委員と会長との意見交換会



政策共創推進委員会
第13回政治家と科学者の対話の会



政策提言委員会 電力プロジェクト
シンポジウム「社会、産業、人々の生活の変容を支える電力システムの在り方」

●国際委員会

- 第1回日独先端工学 (JAGFOE) シンポジウム

●ジェンダー委員会

- 緊急提言「情報学・工学分野における女性の参画を拡大する方策」
ジェンダー委員会シンポジウム
～地元(ふるさと)を起点とした理工系女性の多様な道～

●政策共創推進委員会

- 「政治家と科学者の対話の会」

●支部活動 (北海道・東北・中部・関西・九州)

- 各地区の特質に根差した発展に貢献すべく、
産学官民連携で活動中



広報委員会
EAJ NEWS 特集「科学技術と国家戦略」座談会の様子



国際委員会 JAGFOE 実行委員会
第1回日独先端工学 (JAGFOE) シンポジウム



EAJ フォーラム 2026
「第7期科学技術イノベーション基本計画」

賛助会員 (入会順)

日本電気株式会社、住友電気工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、大成建設株式会社、鹿島建設株式会社、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、NTT 株式会社、株式会社東芝、株式会社 NTT データグループ、株式会社 NTT ドコモ、一般財団法人新技術振興渡辺記念会、東京電力ホールディングス株式会社、東レ株式会社、国立研究開発法人科学技術振興機構、株式会社三菱総合研究所、株式会社 IHI、株式会社島津製作所、株式会社建設技術研究所、ファナック株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社日立ハイテク、株式会社カネカ、株式会社堀場製作所、富士フイルム株式会社、東京エレクトロン株式会社、東海旅客鉄道株式会社、武蔵エンジニアリング株式会社、東北電力株式会社、DMG 森精機株式会社、ダイキン工業株式会社、東海カーボン株式会社、株式会社野村総合研究所、大日本印刷株式会社、花王株式会社、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、株式会社大塚商会